

四谷の

千枚田だより



第130号

お田植え感謝の夕べ 〜灯そう千枚田〜



六月七日、連谷お助け隊主催の灯そう千枚田が開催された。

当日は、未明から降り出した雨の中、隊員や保存会のメンバーは勢いで雨を素っ飛ばそうと会場づくりを開始したものの一向に止む気配はない。そんなこんなと心配していた雨も午後になり止む気配がした。誰も言わないものの「鎮魂の灯火」に捧げる心意気に先祖の魂がきつと天気にしてくれたんだと支度に力が入った。

六時半、ロウソクに灯を入れ七時イベント開始。来賓として穂積市長、今枝衆議院議員から挨拶を、また、下江、柴田市議も参加いただいた。嬉しかったのは過日、穂積(市長)さんに「お母ちゃんも一緒に来ておくれん」とお誘いしたところ、東京からわざわざ新幹線に乗っておいでいただき感謝感激であった。

日が暮れるにしたがい千六百本のロウソクの灯りが作業道(景観道)に輝き、さながら「天空に竜が昇るが如し」と棚田に幻想的な雰囲気醸し出し、地元の我々も、訪れた

人々もいつとき酔いしれた。

会場では「お助け隊」のバザーも好調で「棚田っ娘」の五平餅も早々と完売してしまった。保存会は大はそり二杯のシシ汁をつくり協力カゴを置いたところ、販売するより実入りがよかった。

アトラクションとして連谷小学校四名によるステージパフォーマンスや毎年参加の「こども陣太鼓」の演奏が催しに華を副えた。



熱演するこども陣太鼓

終演九時、見届けたように雨が降り出した。入梅の時期に開催する「灯そう千枚田」は過去にも開催を危ぶむ時や終わった瞬間雨になった事は多々あった。九年も続けて開催できたことは見事に尽きない。

校外学習

① 六月五日、豊橋調理製菓専門学校の生は田の草取りと稲の生育調査、梅取りや地域料理の実習を行った。



田の草取りは二班に分かれ、株の根切りを主体に行ったが、「腰が痛い」とか農作業の大変さを痛感したようだ。梅取りは「へびがいないか、トゲが刺さった」とか言いながらも楽しそうだった。

地域料理は千枚田のおばあさんの指導で五目飯や天ぷらなどを作り、皆で美味しくいただいた。

この、校外学習は田植え、草取り、稲刈り、脱穀までを実習。市地域整備課、泉新城設楽農水事務所建設課の協力を得て毎年実施している。

② 六月五日、市立鳳来中部小学校五年生(三十四名)は千枚田(概要、自然、環境、文化)について(舜)の案内で学習を行った。

児童達は真正面に見る千枚田に「スゲー」と歓声。ビデオプではカエルの移殖からイモリ、へび類空にはワシタカまで増え、自然の摂理と生物多様性に富んだ話に興味津々、説明を聞く眼が輝いており、つつい熱が入ってしまった。断層(地殻変動)を指さし、この地は千五百万年前は設楽海と云われ海であった。僕たちの住む新城市には有海とか大海、海老などの地名があるのも不思議だと説明。十王堂では人が亡くなったら三途の川原で閻魔大王が裁判長となり十の王により

極楽へ行くか地獄へ落とすかの裁判が行われる。等々の嘶に真剣に聞き入った。



真剣に聞き入る児童たち

ふれあい広場に辿り着いた児童達は眼下に望む千枚の水鏡にヤッホーと一声に叫んだが涼風に遮られ木霊は返ってこなかった。

自然を楽しく学ぶ野外学習会

六月一日、鳳来寺山自然科学博物館主催「四谷の千枚田で生きものを観察しよう」に四十名が参加、(舜)と西本ふたば学術委員が講師で開催された。

視察

六月三日、市地域整備課を通し浜松市北区ボランティア連絡協議会四十名が来訪、対応した。

取材

イギリスBBC TVが日本の里山として四谷の千枚田を選定。六月三日から今月中旬まで景観や農作業、モリアオガエルやホタルの撮影が行われる。この地を選んだ経緯は「四谷の千枚田だより」が縁で、田園自然再生コンクール大臣賞受賞、COP10 エクスカージョンなどの資料を提供した。おかげで(舜)は外国人相手に三河弁で夜明けから夜中までのお付き合いに大童である。

篤志

地元、稲熊和男さんから志を頂きました。稲熊さんは千枚田入り口の地主で平成十七年サミット開催の前年に県道から千枚田を一望できればと林木の伐採をお願いしたところ快諾、棚田を真正面からみる姿は日本一と知名度貢献の善き理解者です。頂いた志は貧乏では日本一の保存会運営資金としてありがたい頂戴いたします。

今後の予定

○六月二十一日、四谷の千枚田で「自然観察会」と「ちや・cafe」が開催される。市農業課へ電話申し込み
○六月二十一日、三遠南信住民ネットワーク協議会総会 (舜)出席

行 平成二十六年六月二十日

鞍掛山麓千枚田保存会

発 文 責 小山舜二